

名証ネクスト市場
証券コード：5075

2024年4月25日

事業計画及び成長可能性に関する事項

アップコン株式会社



目次

- 01. 会社概要
- 02. 市場環境
- 03. 優位性
- 04. 成長戦略



01. 会社概要
02. 市場環境
03. 優位性
04. 成長戦略



企業名	アップコン株式会社
本社所在地	神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP東棟611
事務所一覧	札幌事務所 北海道札幌市中央区北2条西2丁目3-2
	仙台事務所 宮城県仙台市青葉区本町1-5-31 シエロ仙台ビル
	名古屋事務所 愛知県名古屋市中区丸の内3-7-26 ACAビル5階
	大阪事務所 大阪府大阪市中央区南船場4丁目10番5号南船場SOHOビル702
	福岡事務所 福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多偕成ビル2階
代表者	松藤 展和
設立	2003年6月
資本金	7,325万円
上場市場	名古屋証券取引所ネクスト市場
証券コード	5075
従業員数	46名（2024年4月現在）
事業概要	事業概要 土木工事業 ■コンクリート床スラブ沈下修正工法【アップコン工法】 ■ウレタン製土壌改良材【ナテルン】 ■農業用水路トンネル機能回復加圧式ウレタン充填工法【FRT工法】 上記工法の施工・施工管理および販売／ウレタンを使った新技術の研究・開発 特許保有件数 国内10件 海外9件

※各事務所には従業員の配置はありません。お問い合わせ専用電話の設置になります。



基本理念

健康第一

安全第一

家庭第一

経営方針

スピードと環境を重視した経営を行い、社会貢献度の高い研究・開発型企业となることを目指します。

健康経営の取り組み

技術部社員による自社施工を強みとしている当社は、人員の確保やチーム全員が万全な態勢を整えておくことは会社の経営にとっても重要な課題です。

「社員の健康は、経営の安定・企業価値を向上させる」ととらえ、社員の健康を推進するために様々な取り組みを実施しています。



7年連続で「健康経営優良法人」に認定

< 取り組み例 >



健康活動倶楽部の発足

アップコンの健康活動を牽引するプロジェクトチーム「健康活動倶楽部（通称：健活倶楽部）」を立ち上げ、体力の向上・メンタルケアなど様々な健康活動を企画・実行しています。



非喫煙宣言

就業時間内の喫煙を禁止・就業時間外も禁煙を推奨しています。2015年の喫煙者は14名でしたが、2023年には0名になりました。



健康活動はすべて**就業時間内**に実施

沿革

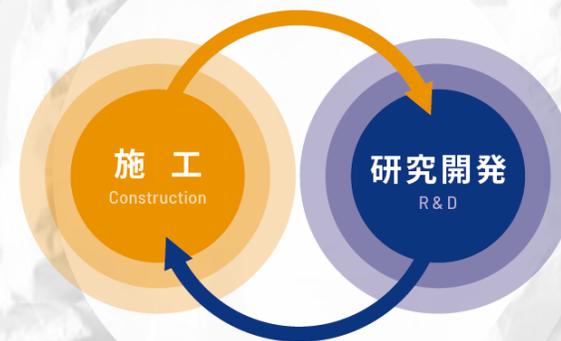
- 2003年6月 ● アップコン有限会社を設立
- 2004年2月 ● アップコン株式会社に組織変更
資本金1,000万円に増資
- 2005年11月 ● ISO9001認証取得
- 2006年2月 ● 資本金2,000万円に増資
- 2007年4月 ● 資本金3,000万円に増資
- 2008年9月 ● 資本金3,500万円に増資
- 2008年7月 ● ISO14001認証取得
- 2010年1月 ● 資本金3,800万円に増資
- 2017年2月 ● 資本金4,300万円に増資
- 2017年5月 ● ISO27001認証取得
- 2019年12月 ● ベトナム Lac Viet社とノウハウライセンス契約書を締結
- 2021年7月 ● 東京証券取引所 TOKYO PRO Marketに上場
- 2022年12月 ● 名古屋証券取引所 ネクスト市場に上場**
資本金1億188万円に増資
- 2023年4月 ● 資本金7,000万円に減資
- 2023年5月 ● 資本金7,325万円に増資
- 2023年6月 ● 創立20周年を迎える**



アップコンはウレタン樹脂を使った施工、 および研究開発で事業展開しています。

当社は、工場・倉庫・店舗や、一般の住宅などの建物において、地盤の不同沈下を原因として生じたコンクリート床の沈下・傾き・段差・空隙を完全ノンフロンのウレタン樹脂、および小型機械を用いた独自の「アップコン工法」によって修正する施工を主力事業として展開しております。

また、新たな事業展開推進のため、多数のプロジェクトを進行させ、硬質発泡ウレタン樹脂の新規応用分野への研究開発に取り組むことで、自ら市場を創りながら事業を開拓していくサイクルを目指す研究開発型企業を目指しています。

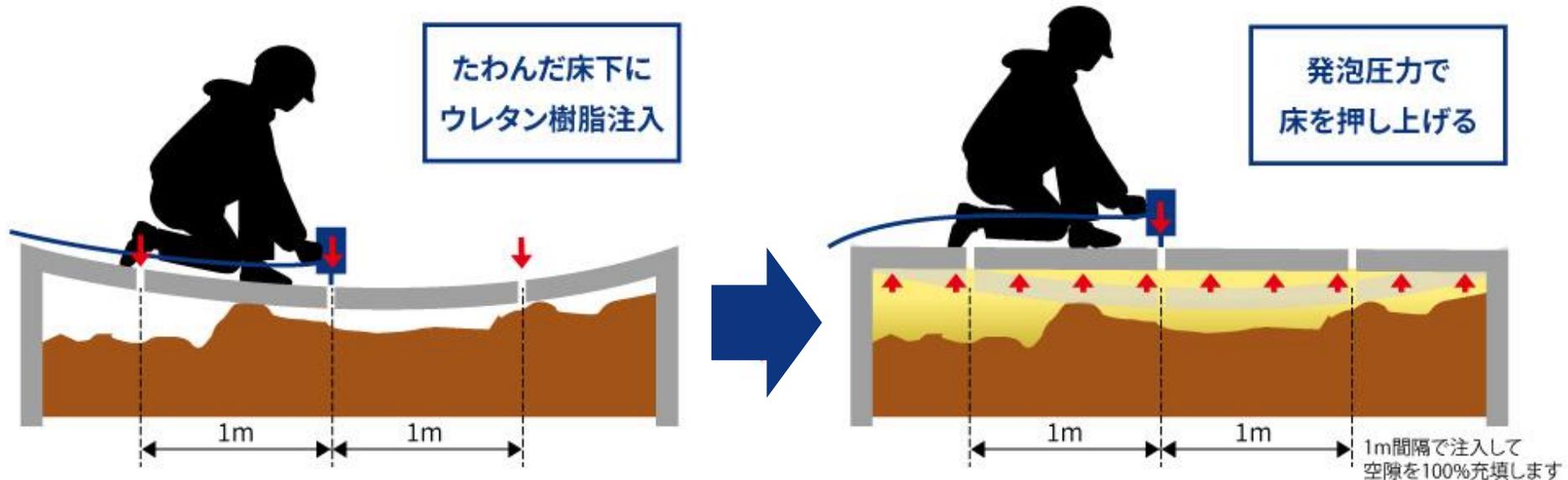


新市場の創出
Creation of New markets

アップコン工法

【コンクリート床スラブ沈下修正工法】とは

沈下・段差・傾き・空隙などが生じた既設コンクリート床に、1m間隔で直径16mmの小さな穴を開け、ウレタン樹脂を注入します。ウレタン樹脂は、短時間で発泡し、その圧力でコンクリート床を床下から押し上げて傾きや段差などを修正します。ウレタン樹脂の注入は、既設コンクリート床の高さを計測機器で常時ミリ単位で監視しながら行い、樹脂の最終強度は約60分で発現します。床下に空隙が発生している場合、同じ方法でウレタンを注入、ウレタン自らが発泡する特性によって、狭い隙間でも入り込み空隙を充填することが可能です。



民間事業・公共事業のセグメントで沈下修正を行っております。



民間事業

- ・コンクリート床スラブ沈下修正工法
(アップコン工法)

引越し不要、操業・業務を止めない工法。
工場・倉庫・店舗・住宅など、日本全国および
海外での沈下修正工事を行います。

工場・倉庫・店舗・住宅・事務所/海外施工等



公共事業

※公共インフラ系

- ・コンクリート舗装版補修工法
- ・農業用水路トンネル機能回復加圧式
ウレタン充填工法 (FRT工法)

高速・一般道路、空港・港湾など日本全国の
沈下修正および空隙充填工事を行います。
農業用水路トンネルの維持・補修工事を行います。

**道路・農業用水路トンネル・空港・
港湾・学校・自衛隊施設等**

01. 会社概要
- 02. 市場環境**
03. 優位性
04. 成長戦略



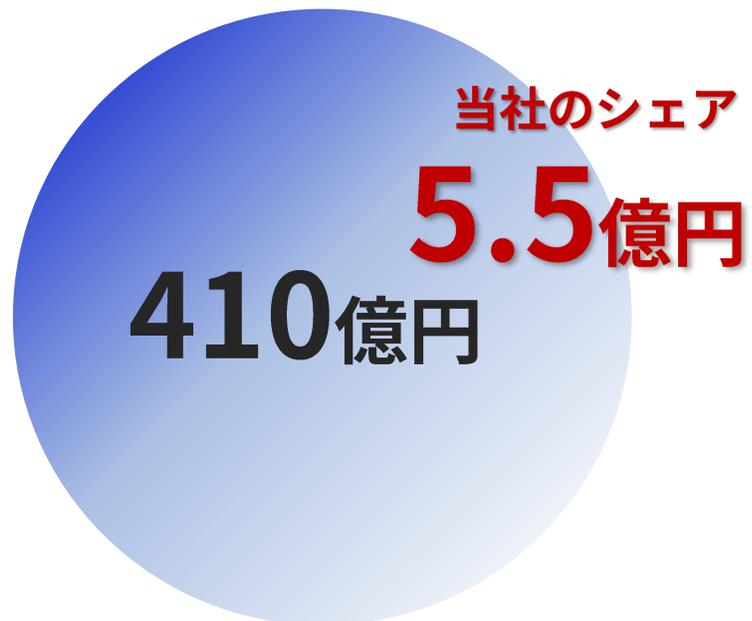


市場規模（民間事業・公共事業）

🏠 住宅



🏭 工場・倉庫・店舗

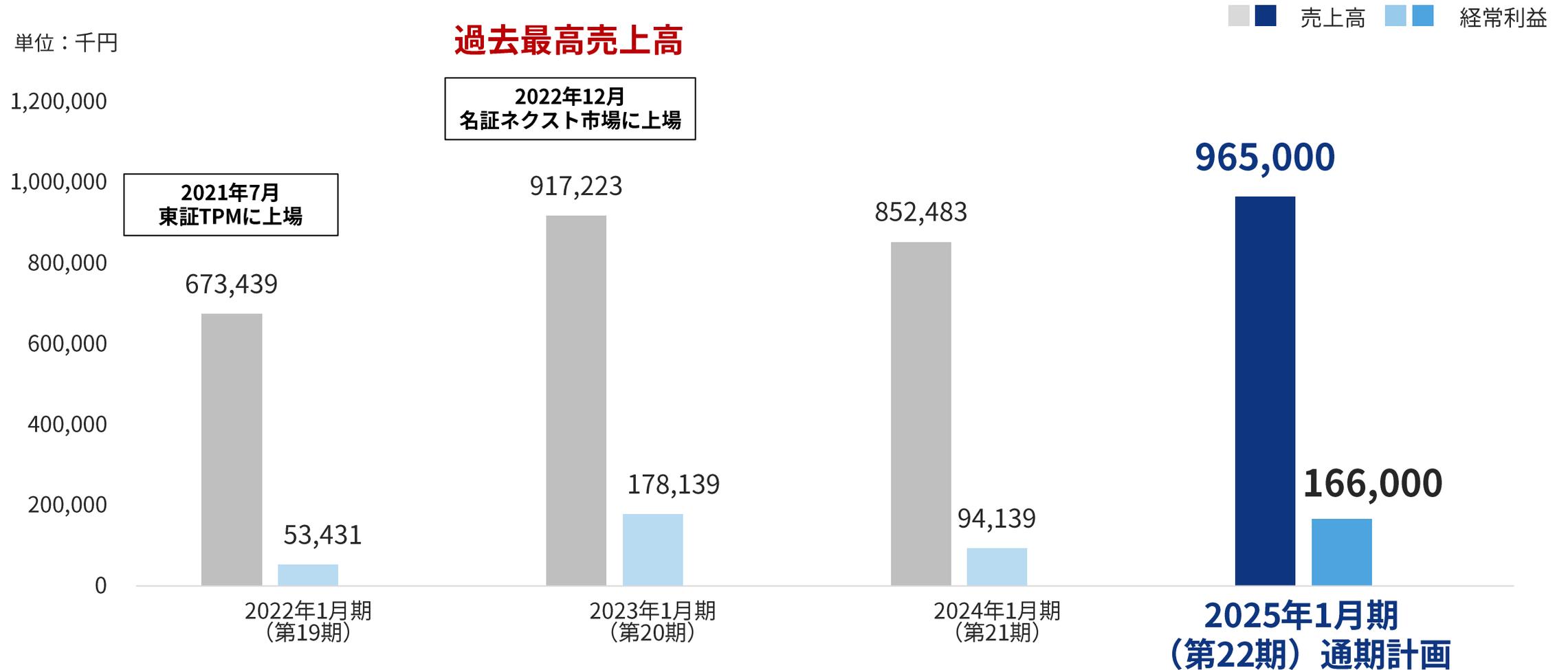


🛣️ 道路



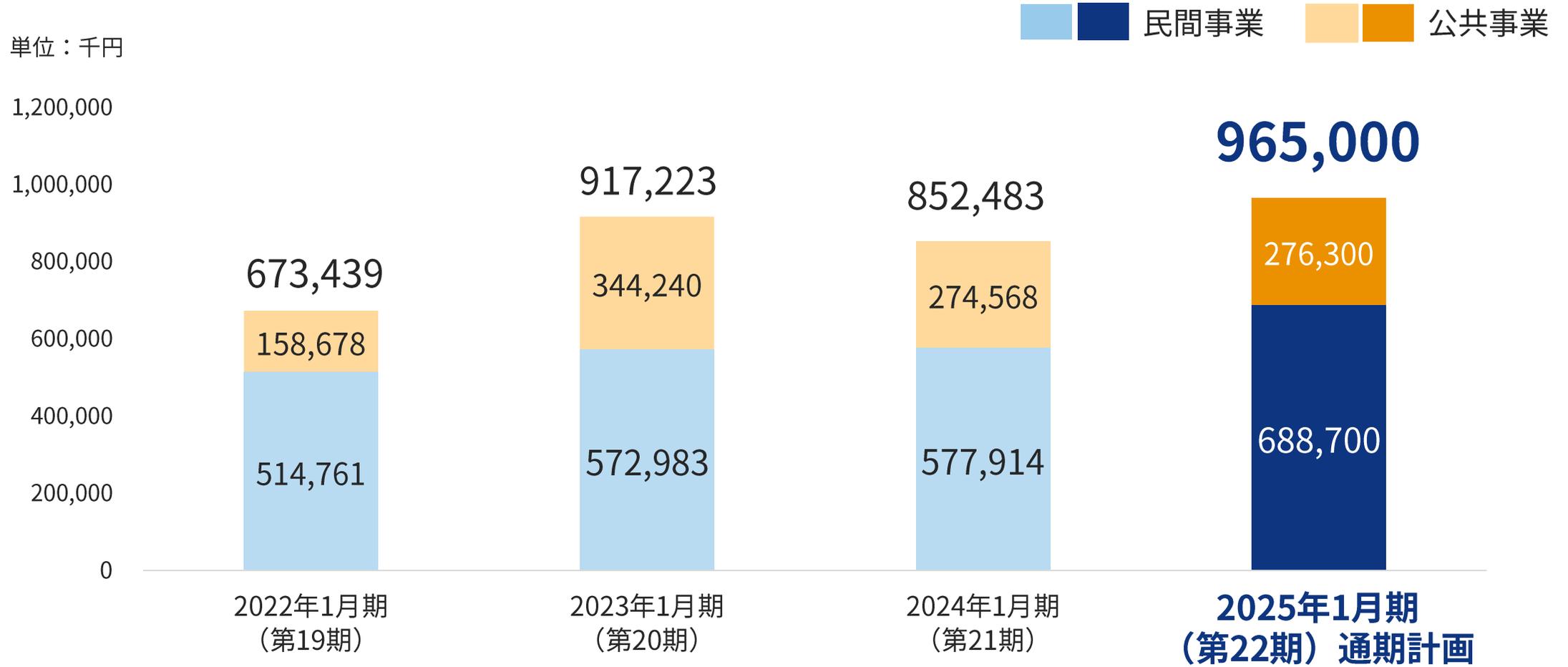
ウレタンのシェア拡大で十分な伸びしろがあります

02. 市場規模 【売上高・経常利益の推移】



売上高6億円をベースにシェアを獲得している。大口受注や自然災害により売上が大幅に伸びる傾向がある。

02. 市場規模 【セグメント別（民間事業・公共事業）売上推移】



01. 会社概要
02. 市場環境
- 03. 優位性**
04. 成長戦略



1.短工期

コンクリート打替え工法

沈下した
コンクリート
撤去
(コンクリート版破碎)

新しいコンクリート打設

- 配筋/型枠設置
- コンクリート打設
- 仕上げ/養生/
型枠撤去など

10日以上

アップコン
工法

アップコン工法なら、工期1/10!

※モデル施工条件
面積:100~150㎡、
コンクリートスラブ厚:150mm、
最大沈下量:50mm前後

わずか1日

アップコン工法
特長

2.操業を止めない



3.高い技術力

4.施工がコンパクト

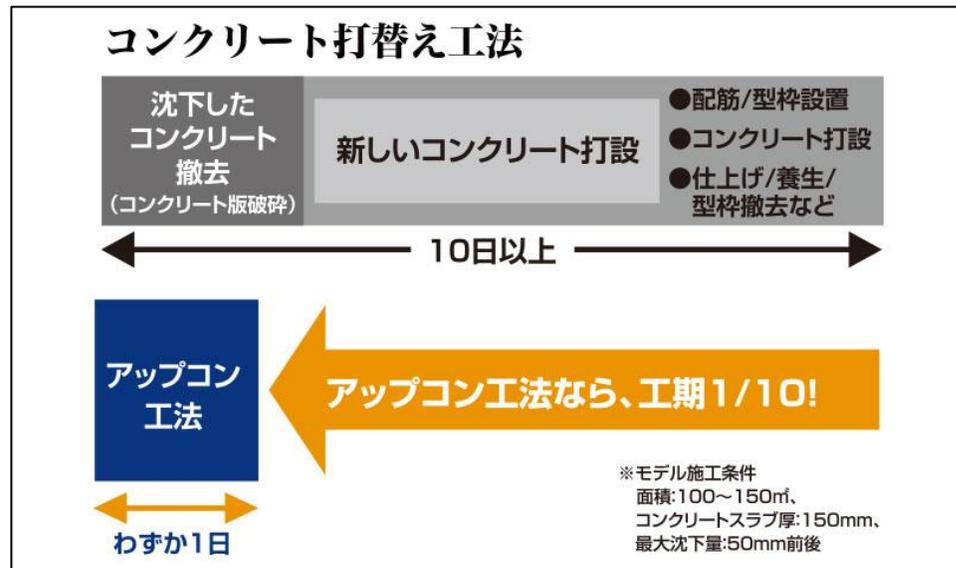




1.短工期

工期は従来工法の1/10

アップコンのウレタン樹脂を使用した施工は既設のコンクリート床の取壊しや養生期間を必要としないため、従来工法と比較し大幅な工期の削減を実現します。



2.操業を止めない

操業・業務を止めずに短時間施工が可能

既設コンクリート床の取り壊しをせず修正するため、機械、ラック、荷物の移動が不要。操業を止めずに施工が可能です。操業を止めず、短工期で修正することでトータルコストの削減に貢献します。



3.高い技術力

100%自社社員による責任施工

徹底した教育を受け、経験を積んだ自社技術スタッフが責任施工。
精度の高い仕上がりでお客様のお悩みを解決します。



4.施工がコンパクト

速やかに現状回復が可能

アップコンは資機材一式を搭載した施工プラント車で全国へ伺います。建物の出入り口付近に施工プラント車を配置し施工を行うため、大型プラントの設置、撤去が不要です。



従来工法と比べCO₂排出量を90.2%削減

従来工法と比較して工事に必要な材料調達から、施工過程、工事終了後の産廃リサイクル等までのライフサイクルCO₂排出量を90.2%削減できます。

- ・施工条件：面積1,000m²、コンクリートスラブ厚150mm、最大沈下 -70mm
- ・環境専門コンサルティング算出



環境に安全な材料を使用

完全ノンフロン硬質発泡ウレタン樹脂を使用

アップコン工法で使用する硬質発泡ウレタン樹脂は、国内の製造メーカーと共同開発したフロン・代替フロンを発生しない完全ノンフロンのウレタンです。成形後、水や海水、土中に含まれる他の物質に対して溶融しないため、土壌汚染を起こさず環境に安全な材料です。



01. 会社概要
02. 市場環境
03. 優位性
- 04. 成長戦略**



シェア拡大

新市場創出

グローバル展開

■ 沈下修正のシェア拡大

■ 研究開発による新市場の創出

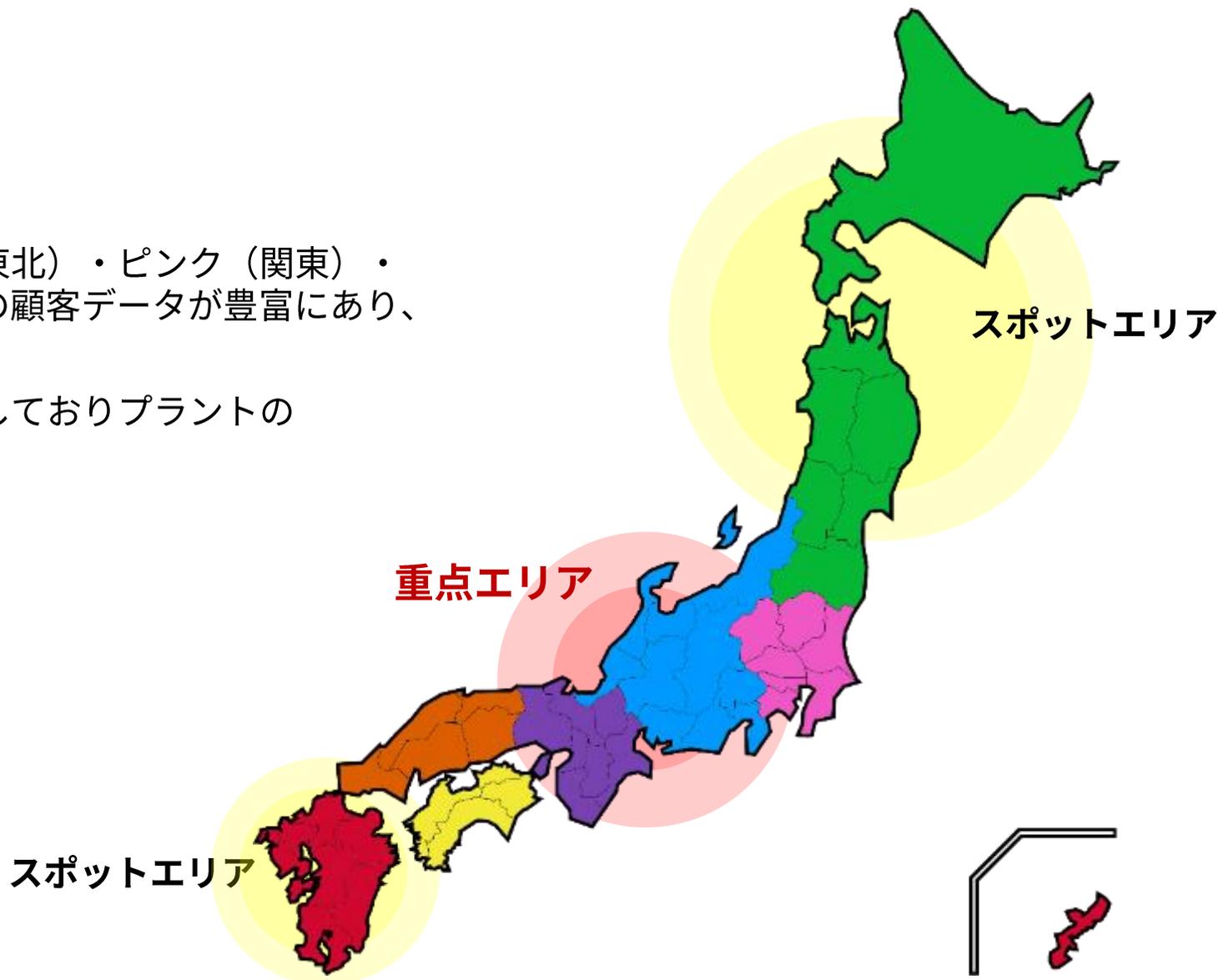
■ ベトナムをはじめとしたグローバル展開

事業重点エリア

▶ 当社の施工実績として緑（北海道・東北）・ピンク（関東）・青（中部）・紫（近畿）・赤（九州）の顧客データが豊富にあり、リピート率の向上が見込める

▶ 比較的、軟弱地盤地帯に建物が集中しておりプラントの拠点地としての候補地が豊富である

- 北海道・東北地方
- 関東地方
- 中部地方
- 近畿地方
- 中国地方
- 四国地方
- 九州・沖縄地方



営業部員の増員



- ・営業力強化のため営業人員を3名増員（うち2名は技術部からの異動）

デジタルマーケティングの強化



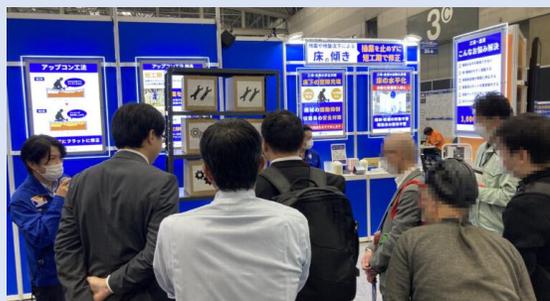
- ・Webコンテンツの拡充
- ・SEO対策強化
- ・MAツールを活用したリードナーチャリング

調査無料キャンペーンの実施



- ・現地調査を無料で行う調査無料キャンペーンの実施

展示会出展



- ・新規リード獲得に向けた積極的な展示会出展

新聞・雑誌広告の出稿



- ・認知度・知名度向上を目的とした広告出稿

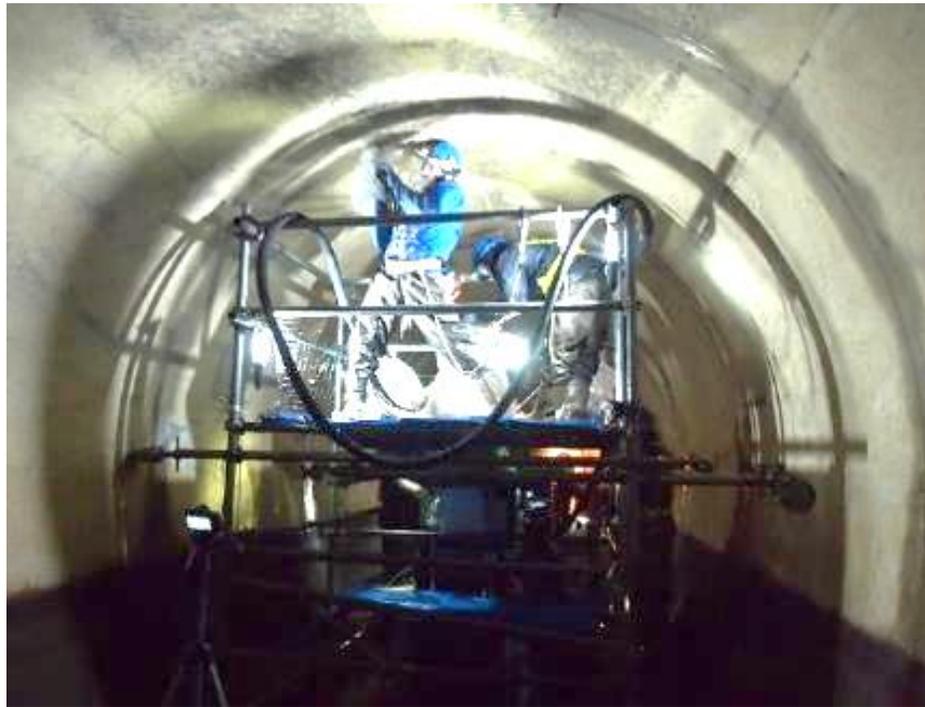
研究開発プロジェクト

研究開発から早期事業化へ
(5つの研究開発プロジェクトが進行中)





農業用水路トンネル機能回復加圧式ウレタン充填工法（FRT工法）



2016年1月期（第13期）事業化に成功

インフラ施設の老朽化対策として、農林水産省の平成22～24年度官民連携新技術研究開発事業を活用し、2016年1月期に事業化に成功

農業水利施設の50%が耐用年数を超過

2020年時点で基幹的な農業水利施設の50%（11,581箇所）が既に耐用年数を超過し、今後10年のうちに標準耐用年数を超過する施設は全国全体の17%（4,102箇所）

日本全国の農業用水路トンネルの総延長は、約2,000km

出典：農林水産省 「農業水利施設におけるストックマネジメントの取組について」（2023年3月版）



緑化プロジェクト発 ウレタン製基盤材「テラタン」

“Makuake”にてテスト販売を実施

応援購入サービス”Makuake”にてテスト販売を実施し、目標金額を達成。今後はオンラインショッピングサイト”Makuake STORE”での販売を予定



テラリウム体験ワークショップを開催

川崎水族館でアップコン×カワスイコラボレーション「テラリウム体験ワークショップ」を開催



グローバル展開

2019年12月 Lac Viet社 (ベトナム) と ノウハウライセンス契約を締結

- ・ 2023年4～6月
Lac Viet社 によるアップコン工法初施工
- ・ 2023年8・9月
JCCH (ホーチミン日本商工会議所) にて
アップコン工法のプレゼンを実施
- ・ ベトナム北部についてはLac Viet社 と日系企業へ
向けた営業を強化し、ベトナム南部は新規技術提携先
の選定を進める



将来の見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらの不確実性には、一般的な業外ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



アップコンは「ニッポン上げろ!」を合言葉に、
日本全国を足元から支え、
暮らしやすい社会に貢献していきます。